

ジオパークで
地域に活力を!!

ジオパーク推進だより

下仁田町自然史館(ジオパーク推進室)
下仁田町大字青倉158-1
☎70-3070 FAX67-5315
<http://www.shimonita-geopark.jp/>

行事報告

12月8日(土)群馬県立高崎高等学校地学部の方がジオツアーを行いました。
当日はふるさとセンターや、中小坂鉄山の坑道跡や石宮・トロッコ道などを見学され、ガイドの話を熱心に聞いてくださいました。

12月18日(火)第5回『下仁田ジオ・歴史遺産応援団』を開催しました。
今回も29名の方にご参加いただき、「地形のでき方・下仁田の歴史における地形利用」について学習しました。
学習会の中では、「第3回日本ジオパーク全国大会」、「農業祭・下仁田ねぎ祭り」についての報告も行いました。



▲高崎高等学校地学部ジオツアー



▲第5回『下仁田ジオ・歴史遺産応援団』



自然史館の利用他

12月23日～25日 関東山地グループ
12月25日～28日 古地磁気研究グループ

行事予定 『はねこし峡ポットホール現地観察会』

日時：2月23日(土)午前9時より調査、午後1時より観察会
場所：はねこし峡集合 ※観察会からの参加も可能です。
申し込み先：ジオパーク推進室 ☎70-3070

ネギとコンニャク・ジオパーク

『国指定史跡荒船風穴』

荒船風穴は明治から昭和初期の基幹産業であった養蚕製糸業を支えた蚕種(さんしゅ)貯蔵所で、電気冷蔵システムが普及していなかった時代に天然の冷風を巧みに利用して、蚕の卵のふ化の時期を遅らせるための冷蔵保護の役目を担った貯蔵所です。

現在は石積みが残っているのみですが、今もなお、当時と変わることなく冷風を感じることができます。

荒船風穴の運営は春秋館が行っており、風穴の規模や大きさだけでなく、経営能力や指導力が評価され、平成22年2月22日、国指定史跡となり、平成24年8月には「富岡製糸場と絹産業遺産群」の構成資産のひとつとして世界遺産への推薦が決定されました。



▲国指定史跡荒船風穴

『ここがすごい!』

- ◆産業遺産として国指定となった風穴は荒船風穴と東谷風穴(中之条町)が初めてで、町内においては唯一の国指定史跡!
 - ◆蚕種の貯蔵能力だけでなく、時代の流れを的確に読んだ経営思想がすごかった!
 - ◆営業当時と変わらぬ冷風をつくるシステムが保たれていること!(自然環境が壊されなかったこと)
- この冷風を生むシステムは傾斜地に堆積した大きな岩の層や伏流水など、この地域特有の地質や地形、気候などが影響していると考えられています。下仁田町の複雑な地形が生んだ貴重な遺産です。

※下仁田町自然史館では、午前9時から午後4時まで展示室を開放しています。ぜひお出かけください。

問い合わせ先 下仁田町自然史館(ジオパーク推進室) ☎70-3070

「下仁田ジオ・歴史遺産応援団」 第7回学習会を開催します。

第7回学習会は、「荒船風穴蚕種貯蔵所跡について」です。

場 所：文化ホール2階研修室

日 時：平成25年2月26日(火) 午後7時～8時30分

ガイドは無理でもジオパークや世界遺産に興味があって学習したいという方も募集しています。今までに受講されていない方でも参加できますので、お申込みください。



▲明治時代の荒船風穴

申し込み先 下仁田ジオパーク推進室 ☎70-3070

ふるさとセンター ☎82-5345

ふるさとセンターだより

ふるさとセンター “新”展示紹介



左の写真は、旧田村写真館様からご提供いただいた、「昭和9年 下仁田の大火現場」の写真です。

下仁田町が経験した大災害で、その後、力強く発展した今日の町の歴史を後世へ伝える貴重な歴史資料です。

新たな資料の発見に伴いご紹介いたします。

【写真は、仲町・上町付近】

～下仁田の歴史を今につたえる～

ふるさとセンター ☎82-5345

ふるさとセンターでは、町が歩んだ歴史を次代へつなぐため、資料保存、活用を積極的に行っています。また、近年見つかった昔の写真や古地図なども新たに展示していますのでぜひおでかけください。

なお、写真、現物に関わらず、歴史資料の情報などがありましたら、お知らせください。